

平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月31日

上場会社名 株式会社ポーラ・オルビスホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 4927 URL <http://www.po-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 郷史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当 (氏名) 藤井 彰 (TEL) 03-3563-5517
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 平成29年9月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日~平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	117,378	9.7	20,944	72.4	20,944	86.0	13,955	68.9
28年12月期第2四半期	106,957	7.2	12,150	31.5	11,258	16.4	8,264	35.7

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 14,339百万円(242.8%) 28年12月期第2四半期 4,182百万円(△9.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	63.10	63.01
28年12月期第2四半期	37.37	37.32

(注) 当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第2四半期	240,444	194,144	80.5	875.58
28年12月期	228,845	185,864	81.0	838.32

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 193,658百万円 28年12月期 185,417百万円

(注) 当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	90.00	—	110.00	200.00
29年12月期	—	25.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	30.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。平成28年12月期の配当金については当該株式分割前の実際の配当金額、平成29年12月期(予想)の配当金については当該株式分割後の配当金額を記載しております。

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	236,000	8.0	36,500	35.6	36,500	34.2	23,800	36.4	107.61

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純利益を算定しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規 -社（社名）、除外 -社（社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期2Q	229,136,156株	28年12月期	229,136,156株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	7,958,317株	28年12月期	7,958,040株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期2Q	221,177,997株	28年12月期2Q	221,151,716株

（注）当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年1月1日～平成29年6月30日）におけるわが国の経済は、雇用情勢や企業収益の改善等を背景に緩やかな回復基調が続いており、個人消費は緩やかに持ち直しております。

国内化粧品市場においては、前年の下期以降、陰りが見られていた訪日観光客のインバウンド消費が、足元では再び増加に転じたことにより、堅調に推移しております。なお、インバウンド消費を除く市場規模は前年並みとなっております。海外化粧品市場においては、中国を始めとするアジア新興国の経済成長に鈍化がみられるものの、緩やかな拡大傾向が続いております。

このような市場環境のもと、今年度からスタートした新4ヶ年中期経営計画（平成29年から平成32年）に基づき、国内のさらなる収益性向上と海外事業での黒字化、次世代の成長ブランド創出を達成すべく、取り組みを進めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績は次のとおりとなりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、基幹ブランドであるPOLAブランドに加え、育成ブランドであるTHREEブランド及びDECENCIAブランドの好調により、前年同期比9.7%増の117,378百万円となりました。営業利益は売上高増による売上総利益増加により、前年同期比72.4%増の20,944百万円、経常利益は前年同期比86.0%増の20,944百万円となりました。以上の結果により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比68.9%増の13,955百万円となりました。

〔業績の概要〕

	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	106,957	117,378	10,420	9.7
営業利益	12,150	20,944	8,794	72.4
経常利益	11,258	20,944	9,685	86.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8,264	13,955	5,690	68.9

〔セグメント別の業績〕

売上高（外部顧客への売上高）

	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
ビューティケア事業	99,343	109,303	9,959	10.0
不動産事業	1,517	1,348	△169	△11.1
その他	6,096	6,726	630	10.3
合計	106,957	117,378	10,420	9.7

セグメント利益又は損失（△）（営業利益又は損失（△））

	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
ビューティケア事業	12,080	20,095	8,015	66.4
不動産事業	797	592	△205	△25.7
その他	△335	165	500	—
セグメント利益の調整額 (注)	△392	91	483	—
合計	12,150	20,944	8,794	72.4

(注) セグメント利益の調整額とは、グループの内部取引に伴う利益及びセグメントに含まれない経費などを連結時に消去・加算した金額であります。なお、セグメント利益の調整額の詳細につきましては、P.9～10「1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報（注2）」をご覧ください。

(ビューティケア事業)

ビューティケア事業は、基幹ブランドとして「POLA」「ORBIS」を、海外ブランドとして「Jurlique」「H2O PLUS」を、育成ブランドとして「THREE」「DECENCIA」「ORLANE」を展開しております。

POLAブランドでは、長期的な安定成長を果たすべく、ブランドの浸透、プロフェッショナルなビューティーディレクターの採用・育成に向けた投資を行っております。国内市場においては、日本で初めて承認されたシワを改善する薬用化粧品「リンクルショット メディカル セラム」を1月に発売しました。シワに悩む多くの女性の声に応えたシワを改善するという商品特長と対面カウンセリング、プロモーションでの積極的な情報発信により、お客さまが順調に増加しております。加えて、訪日観光客によるインバウンド売上が化粧品に拡大したことにより、好調に推移しております。海外市場においては、中国市場を中心に、全体として好調に売上成長しております。以上の結果、POLAブランドは前年同期を上回る売上高となりました。

ORBISブランドでは、ブランド進化による更なる成長と収益向上を目指し、ブランド発信の強化、SNSを活用したお客さま獲得と2回目購入率の向上に取り組んでおります。国内市場においては、主力商品である「アクアフォース」シリーズを1月に全面刷新しました。また、SNSを活用したコミュニケーションの強化を行うことで、お客さまの2回目購入率は高まったものの、前期の広告宣伝費の抑制により顧客リストの拡大に至らず、前年同期を下回る売上高となりました。海外市場においては、中国市場及びシンガポール市場で好調に売上成長しております。以上の結果、ORBISブランドは前年同期を下回る売上高となりました。

海外ブランドについては、Jurliqueブランド及びH2O PLUSブランドの本拠地である豪州・米国での事業成長を目指した取り組みを行ってまいりました。Jurliqueブランドは、トラベルリテール市場や豪州市場での苦戦に加え、中国市場において昨年3月より直営店販売から代理店販売に変更した影響を受け、前年同期を下回る売上高となりました。一方で、費用効率の向上を目的として販売管理費を削減したことにより、前年同期を上回る営業利益となりました。H2O PLUSブランドは、昨年6月に、リステージ商品への切り替えに伴う一時的な出荷増の影響に加え、直販Webの不調により、前年同期を下回る売上高となりました。一方で、昨年は中国事業撤退に伴う一時費用が発生していたことにより、前年同期を上回る営業利益となりました。

育成ブランドについては、THREEブランドやDECENCIAブランドが好調であったものの、昨年譲渡したFUTURE LABOブランドとpdcブランドの影響により、前年同期を下回る売上高となりました。

以上の結果、売上高（外部顧客に対する売上高）は109,303百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益は20,095百万円（前年同期比66.4%増）となりました。

(不動産事業)

不動産事業では、都市部のオフィスビル賃貸を中心に、魅力的なオフィス環境の整備による賃料の維持向上と空室率の低下に取り組むとともに、子育て支援に特化した賃貸マンション事業も展開しております。当第2四半期連結累計期間は、市況や他社状況を勘案した入居条件の見直しや、ビルの価値向上に向けた取り組みを行ったものの、昨年譲渡したポーラ恵比寿ビルの影響により、前年同期を下回る売上高となりました。

以上の結果、売上高（外部顧客に対する売上高）は1,348百万円（前年同期比11.1%減）、営業利益は592百万円（前年同期比25.7%減）となりました。

(その他)

その他に含まれている事業は、医薬品事業及びビルメンテナンス事業であります。

医薬品事業では、化粧品や医薬部外品研究で培ってきた当社グループの研究成果を活用し、新規医薬品の開発・製造・販売及び医薬品の製造受託を行っております。当第2四半期連結累計期間は、重点領域である皮膚科領域にリソースを集中した継続的な活動に加え、グラクソ・スミスクライングループとのライセンス契約に基づく、尋常性ざ瘡治療配合剤「デュアック®配合ゲル」の販売や、昨年4月に発売された爪白癬治療剤「ルコナック®爪外用液5%」により、前年同期を上回る売上高となりました。

ビルメンテナンス事業は、当社グループ会社を主な取引先とし、ビルの運営管理を行っております。当第2四半期連結累計期間においては、継続した営業活動により好調に受注を拡大したことにより、前年同期を上回る売上高となりました。

以上の結果、売上高（外部顧客に対する売上高）は6,726百万円（前年同期比10.3%増）、営業利益は165百万円（前年同期は営業損失335百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ11,598百万円増加し、240,444百万円（前連結会計年度末比5.1%増）となりました。主な増減項目は、余剰資金の運用による有価証券の増加10,400百万円並びに投資有価証券の増加7,815百万円により増加し、一方で現金及び預金の減少10,174百万円により減少しております。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ3,318百万円増加し、46,300百万円（前連結会計年度末比7.7%増）となりました。主な増減項目は、支払手形及び買掛金の増加681百万円、未払金等の増加に伴う流動負債「その他」の増加2,394百万円により増加しております。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ8,280百万円増加し、194,144百万円（前連結会計年度末比4.5%増）となりました。主な増減項目は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上13,955百万円、為替の影響による為替換算調整勘定の増加319百万円により増加し、一方で剰余金の配当6,082百万円により減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成29年7月27日に発表しました業績予想に変更はありません。

(参考情報)

前期累計期間実績

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	百万円 49,516	百万円 106,957	百万円 159,150	百万円 218,482
営業利益	3,673	12,150	18,310	26,909
経常利益	3,381	11,258	17,450	27,191
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,616	8,264	12,294	17,447

前期会計期間実績

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	百万円 49,516	百万円 57,440	百万円 52,193	百万円 59,331
営業利益	3,673	8,477	6,159	8,598
経常利益	3,381	7,876	6,192	9,740
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,616	4,648	4,029	5,153

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	76,978	66,803
受取手形及び売掛金	25,985	27,029
有価証券	18,500	28,900
商品及び製品	12,503	13,385
仕掛品	1,090	988
原材料及び貯蔵品	3,977	4,634
その他	9,384	10,034
貸倒引当金	△83	△78
流動資産合計	148,335	151,696
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,132	18,279
土地	13,116	13,058
その他（純額）	12,068	12,460
有形固定資産合計	43,318	43,798
無形固定資産		
のれん	905	894
商標権	8,642	8,825
その他	6,789	6,658
無形固定資産合計	16,337	16,378
投資その他の資産		
投資有価証券	13,046	20,862
その他	7,894	7,797
貸倒引当金	△86	△88
投資その他の資産合計	20,854	28,571
固定資産合計	80,510	88,747
資産合計	228,845	240,444

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,694	5,375
短期借入金	600	1,600
未払法人税等	2,034	2,274
賞与引当金	1,639	1,259
ポイント引当金	3,541	3,538
その他の引当金	69	436
その他	19,282	21,677
流動負債合計	31,862	36,161
固定負債		
長期借入金	1,000	—
その他の引当金	53	53
退職給付に係る負債	4,207	4,212
その他	5,858	5,872
固定負債合計	11,119	10,138
負債合計	42,981	46,300
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	90,731	90,731
利益剰余金	85,430	93,302
自己株式	△2,187	△2,188
株主資本合計	183,973	191,846
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12	22
為替換算調整勘定	2,245	2,565
退職給付に係る調整累計額	△813	△775
その他の包括利益累計額合計	1,444	1,812
新株予約権	214	238
非支配株主持分	231	247
純資産合計	185,864	194,144
負債純資産合計	228,845	240,444

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	106,957	117,378
売上原価	20,121	18,925
売上総利益	86,836	98,452
販売費及び一般管理費		
販売手数料	23,215	26,060
販売促進費	11,939	11,627
広告宣伝費	4,078	4,473
給料手当及び賞与	10,750	10,829
賞与引当金繰入額	1,053	1,009
ポイント引当金繰入額	3,276	3,309
その他	20,371	20,196
販売費及び一般管理費合計	74,685	77,507
営業利益	12,150	20,944
営業外収益		
受取利息	126	115
その他	103	113
営業外収益合計	229	228
営業外費用		
支払利息	34	37
為替差損	1,064	173
その他	22	18
営業外費用合計	1,121	229
経常利益	11,258	20,944
特別利益		
固定資産売却益	2,997	623
為替換算調整勘定取崩益	—	5
その他	25	—
特別利益合計	3,022	629
特別損失		
固定資産売却損	8	19
固定資産除却損	125	139
訴訟損失引当金繰入額	—	370
その他	25	7
特別損失合計	159	535
税金等調整前四半期純利益	14,121	21,037
法人税、住民税及び事業税	5,621	7,548
法人税等調整額	224	△476
法人税等合計	5,846	7,071
四半期純利益	8,275	13,966
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,264	13,955

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	8,275	13,966
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△233	10
為替換算調整勘定	△3,873	324
退職給付に係る調整額	14	37
持分法適用会社に対する持分相当額	0	—
その他の包括利益合計	△4,092	373
四半期包括利益	4,182	14,339
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,200	14,323
非支配株主に係る四半期包括利益	△17	15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビューティ ケア事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	99,343	1,517	100,860	6,096	106,957	—	106,957
セグメント間の内部 売上高又は振替高	46	353	400	1,228	1,628	△1,628	—
計	99,389	1,871	101,261	7,324	108,586	△1,628	106,957
セグメント利益又は 損失(△)	12,080	797	12,877	△335	12,542	△392	12,150

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品事業及びビルメンテナンス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△392百万円には、セグメント間取引消去1,030百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,422百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社本社の管理部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビューティ ケア事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	109,303	1,348	110,651	6,726	117,378	—	117,378
セグメント間の内部 売上高又は振替高	37	254	292	1,216	1,508	△1,508	—
計	109,340	1,603	110,943	7,942	118,886	△1,508	117,378
セグメント利益又は 損失(△)	20,095	592	20,688	165	20,853	91	20,944

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品事業及びビルメンテナンス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額91百万円には、セグメント間取引消去1,615百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,524百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社本社の管理部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。